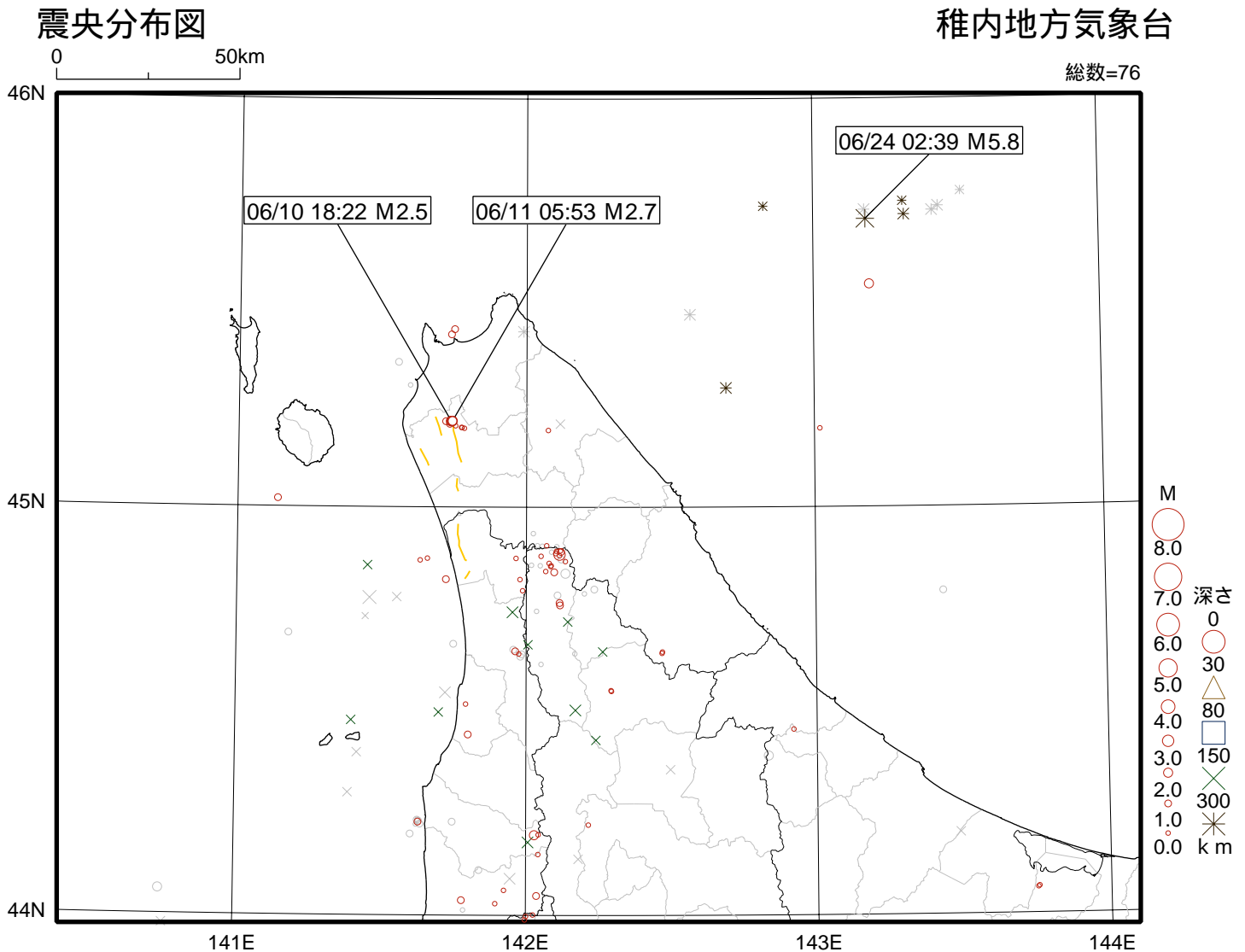


# 宗谷地方の地震活動図

2023年6月1日～2023年6月30日

稚内地方気象台

総数=76



## 地震概況（2023年6月）

この期間、宗谷地方の地震観測点で震度1以上を観測した地震は4回（5月はなし）でした（「震度1以上を観測した地震の表」参照）。

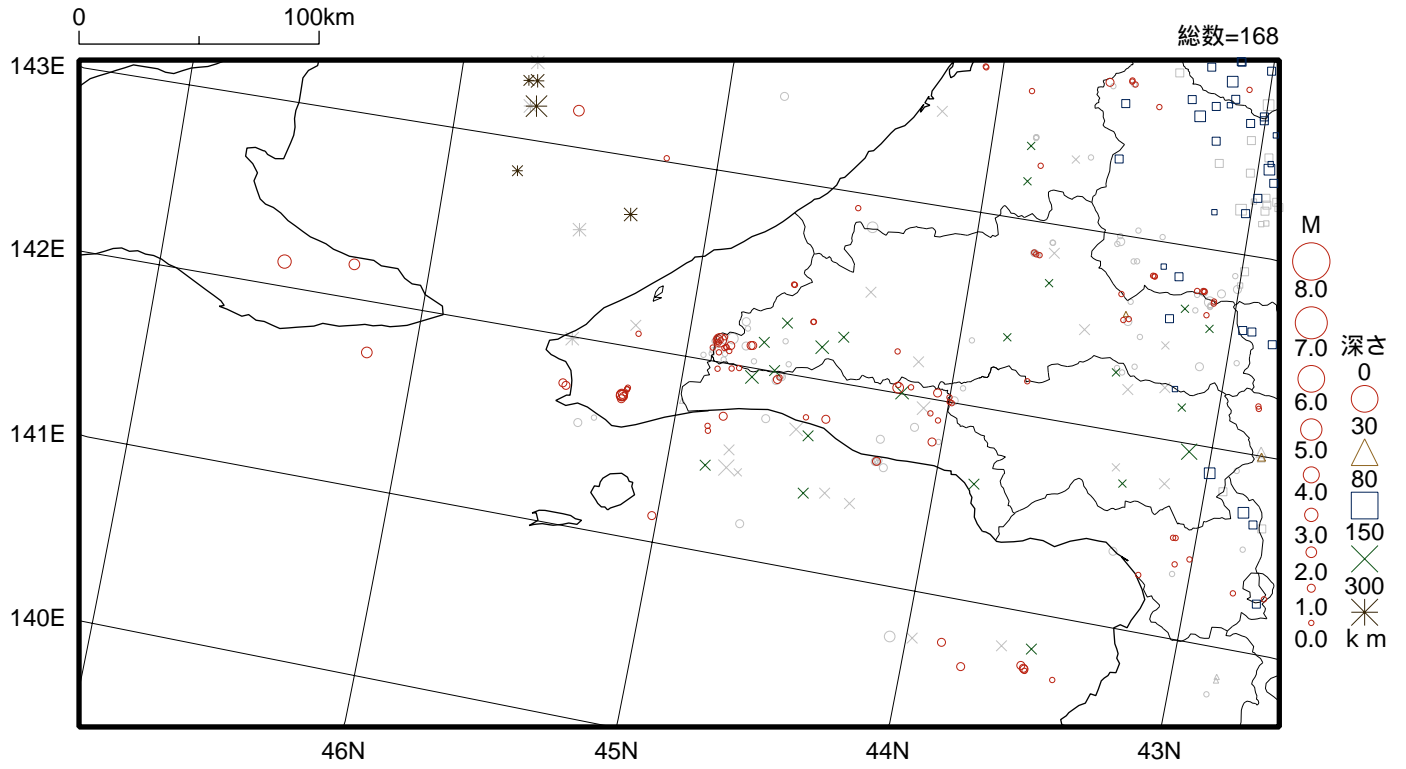
10日18時22分、宗谷地方北部の地震（M2.5、深さ11km）により、稚内市で震度1を観測しました。また、この地震の発生後の11日05時53分の地震（M2.7、深さ11km）により、豊富町で震度1を観測しました。

11日18時54分、苫小牧沖の地震（M6.2、深さ136km、震央分布図の範囲外）により、猿払村で震度2を観測しました。

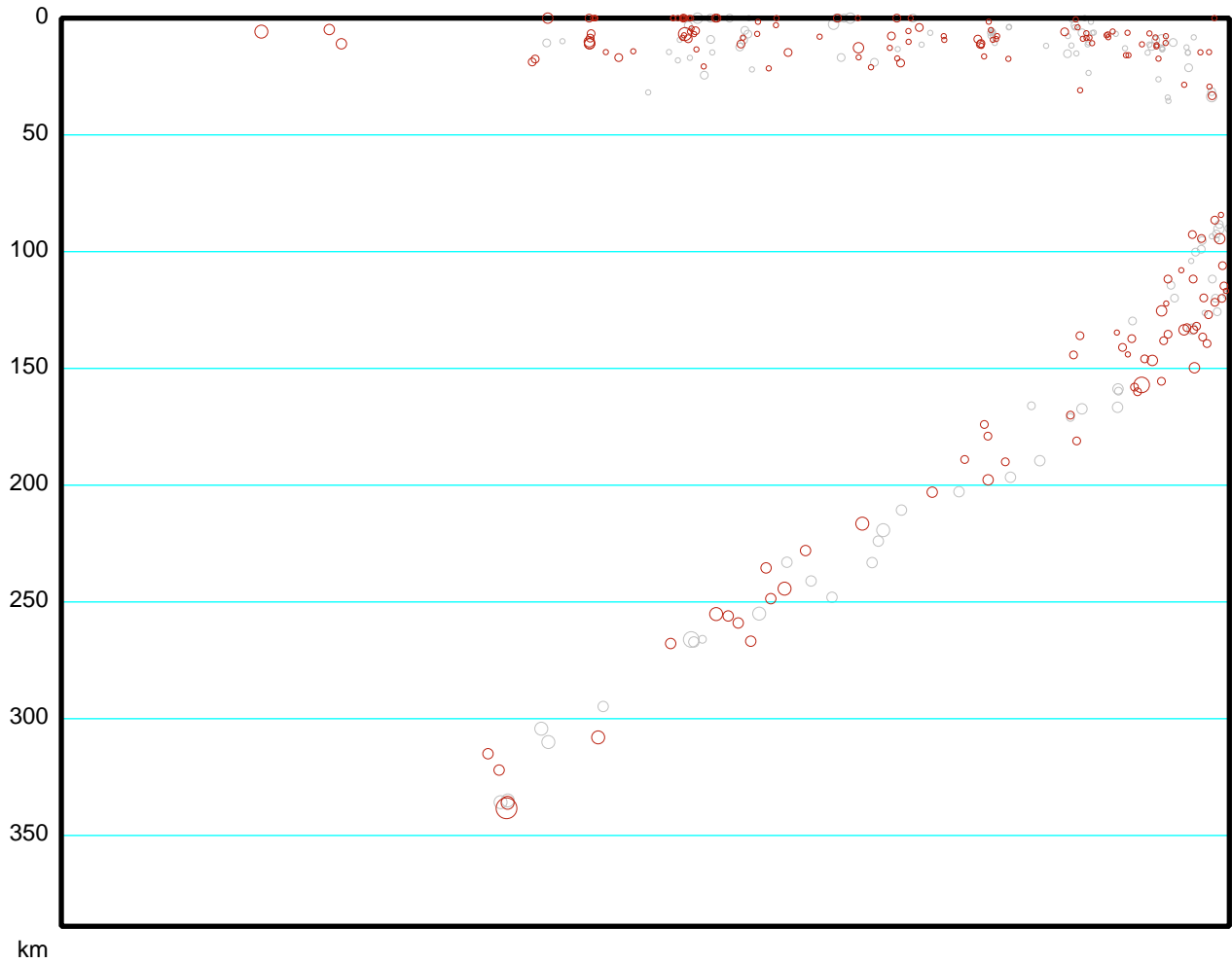
24日02時39分、宗谷東方沖の地震（M5.8、深さ338km）により、猿払村で震度1を観測しました。

2023年6月1日 ~ 2023年6月30日

震央分布図



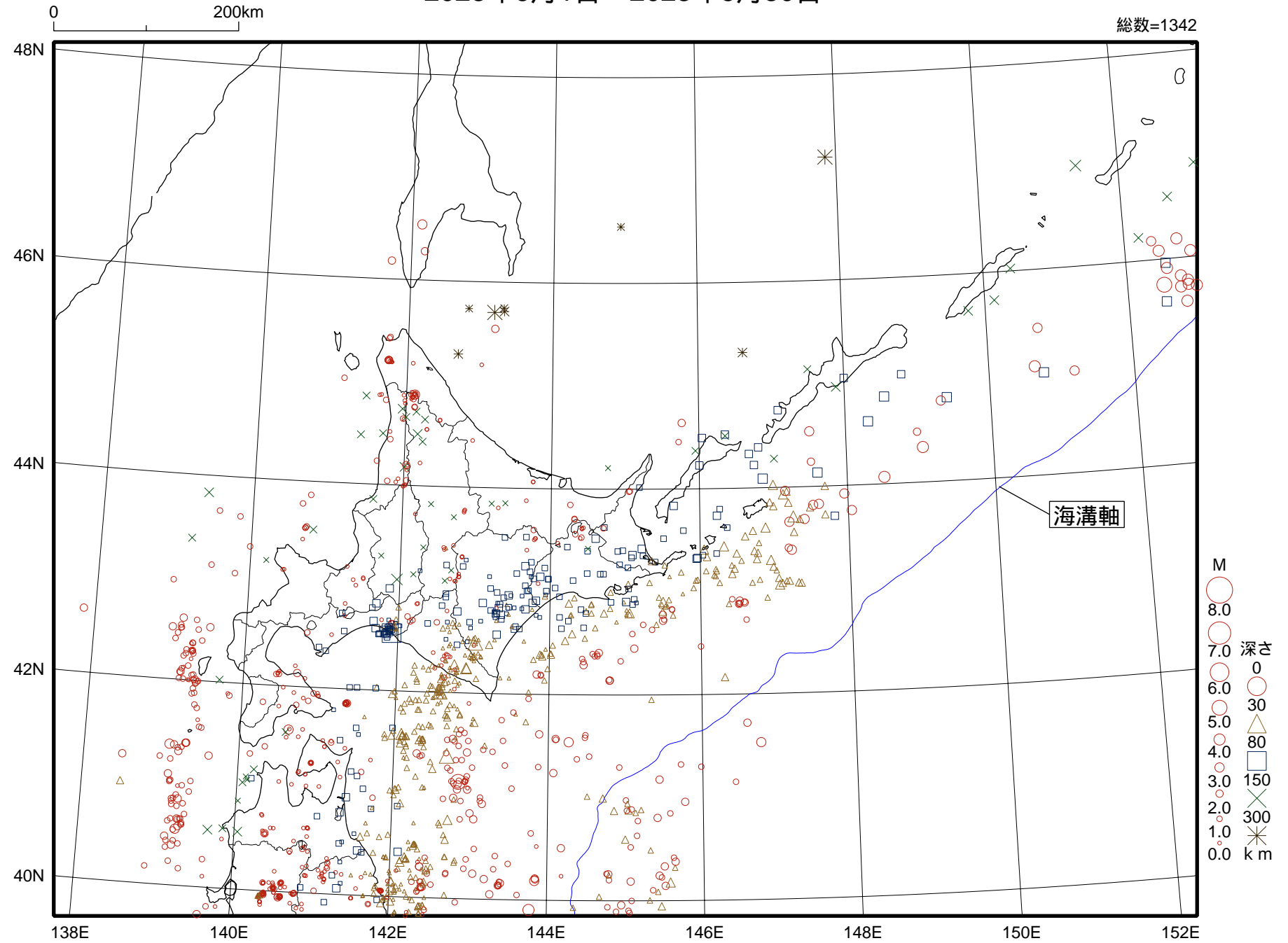
断面図



# 北海道の地震活動図

2023年6月1日 ~ 2023年6月30日

震央分布図



## 宗谷地方で震度 1 以上を観測した地震の表 (2023年6月)

| 年 月 日<br>地方         | 時 分<br>震度      | 震央地名<br>震度観測点名            | 北緯 (N)     | 東経 (E)      | 深さ (km) | 規模 (M) |
|---------------------|----------------|---------------------------|------------|-------------|---------|--------|
| 2023年 6月10日<br>宗谷地方 | 18時22分<br>震度 1 | 宗谷地方北部<br>稚内市沼川 * (07)    | 45° 12.6 N | 141° 44.2 E | 11 km   | M2.5   |
| 2023年 6月11日<br>宗谷地方 | 05時53分<br>震度 1 | 宗谷地方北部<br>豊富町西 6 条 * (06) | 45° 12.6 N | 141° 44.4 E | 11 km   | M2.7   |
| 2023年 6月11日<br>宗谷地方 | 18時54分<br>震度 2 | 苫小牧沖<br>猿払村浅茅野 * (15)     | 42° 33.5 N | 141° 54.9 E | 136 km  | M6.2   |
| 2023年 6月24日<br>宗谷地方 | 02時39分<br>震度 1 | 宗谷東方沖<br>猿払村浅茅野 * (11)    | 45° 42.2 N | 143° 11.0 E | 338 km  | M5.8   |

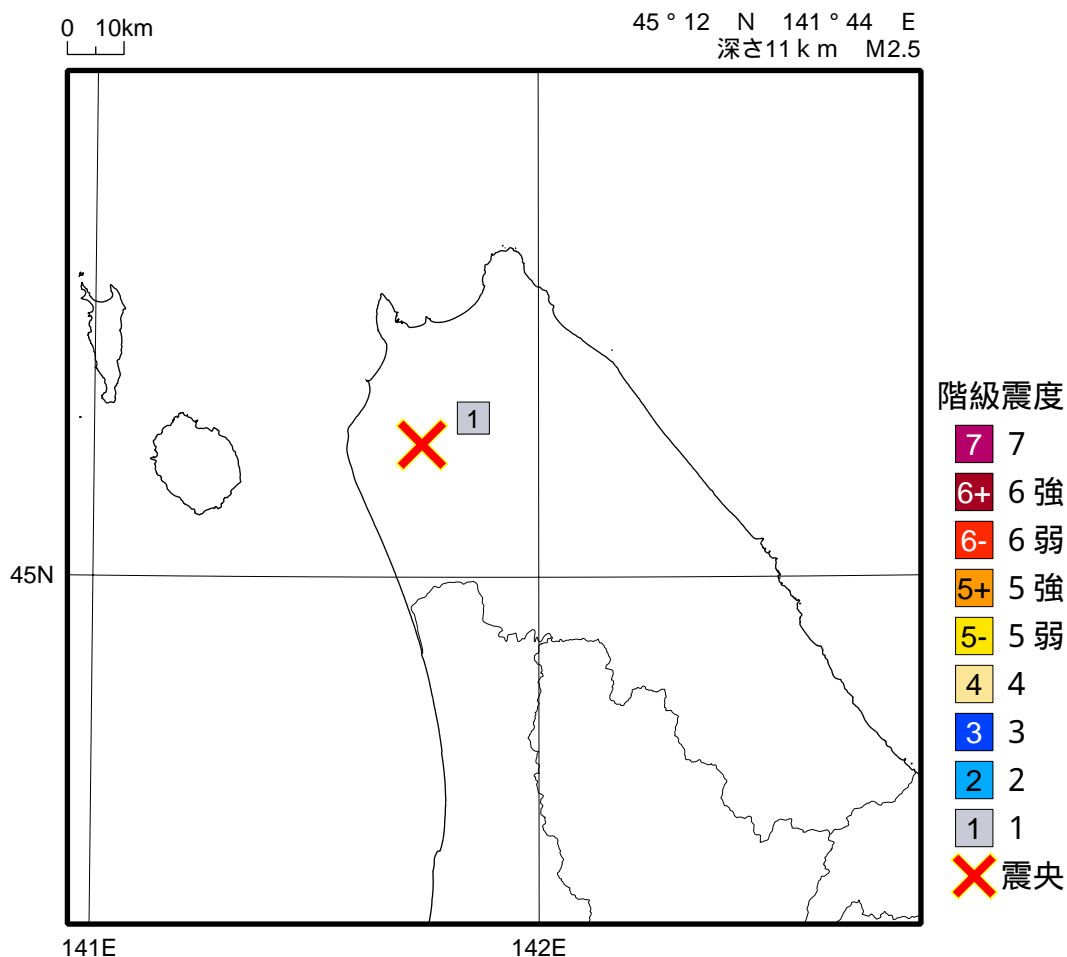
\*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

( )内の数値は0.1単位の詳細な震度 (計測震度) の小数点を省略して表しています。

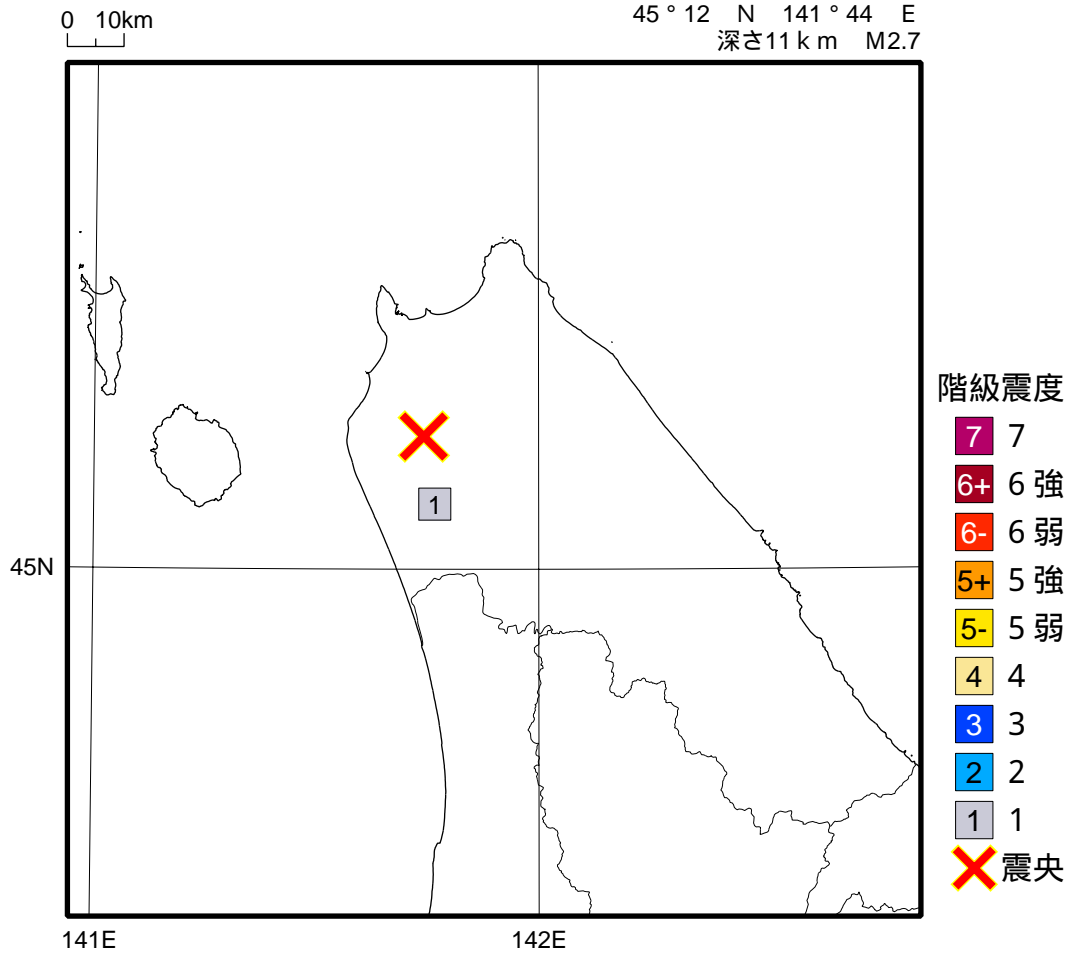
### 計測震度と震度階級の関係

| 計測震度 | ~ 0.4 | 0.5 ~ 1.4 | 1.5 ~ 2.4 | 2.5 ~ 3.4 | 3.5 ~ 4.4 | 4.5 ~ 4.9 | 5.0 ~ 5.4 | 5.5 ~ 5.9 | 6.0 ~ 6.4 | 6.5 ~ |
|------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 震度階級 | 0     | 1         | 2         | 3         | 4         | 5弱        | 5強        | 6弱        | 6強        | 7     |

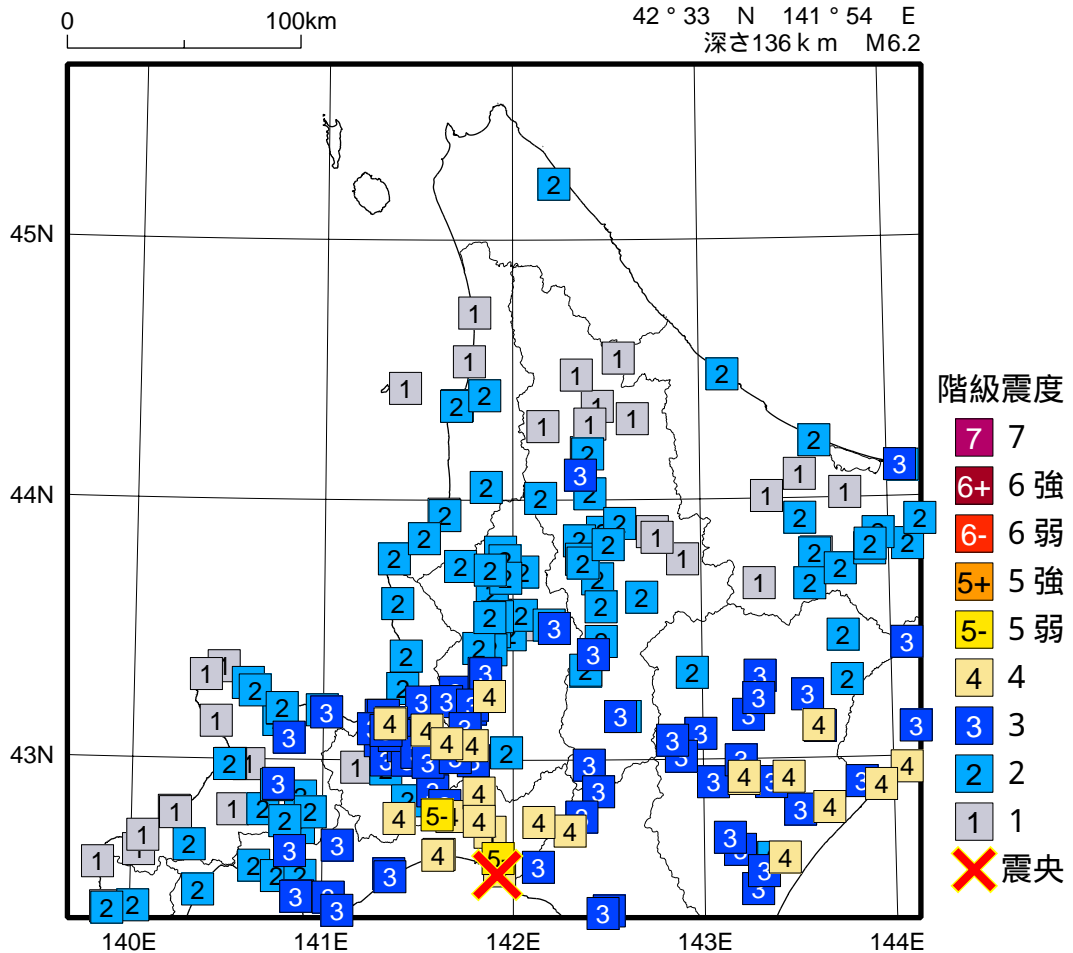
### 2023年 6月10日18時22分 宗谷地方北部の地震の震度分布図



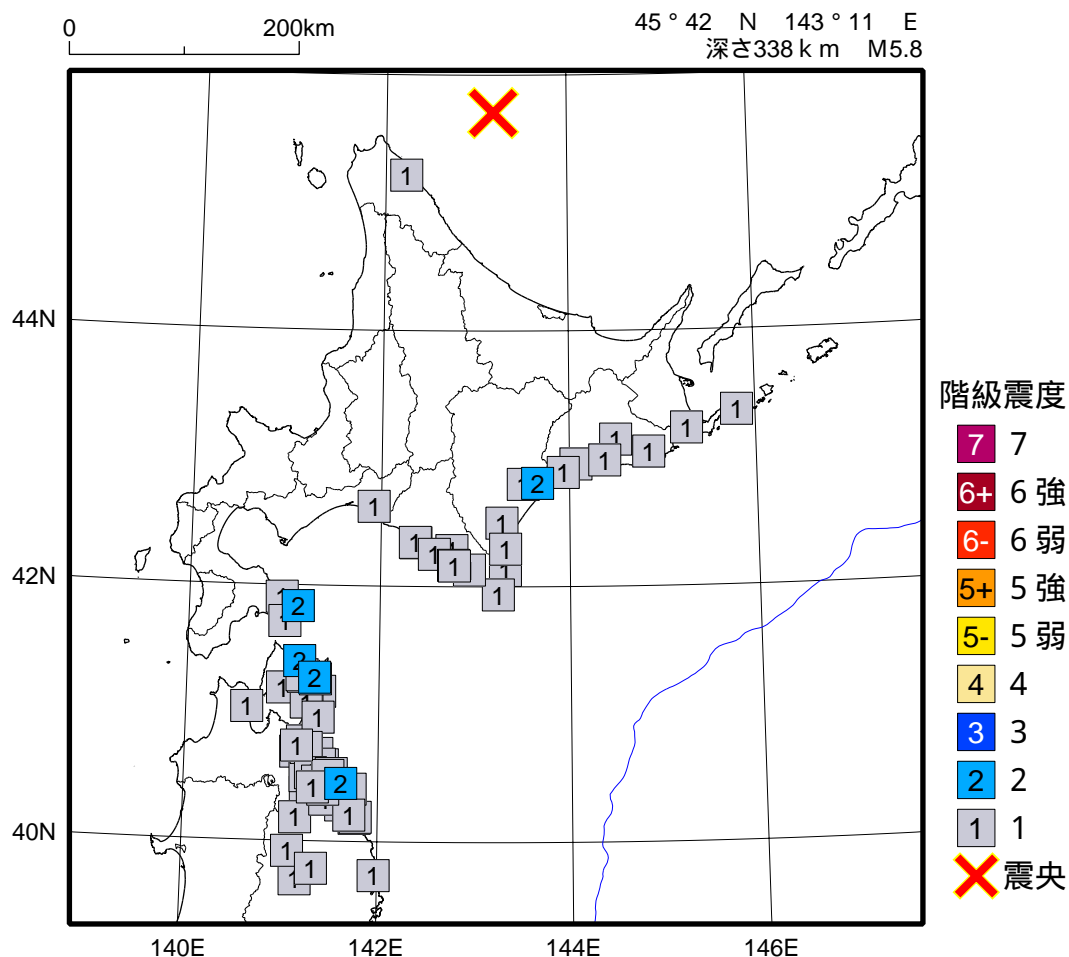
2023年 6月11日05時53分 宗谷地方北部の地震の震度分布図



2023年 6月11日18時54分 苫小牧沖の地震の震度分布図



## 2023年 6月24日02時39分 宗谷東方沖の地震の震度分布図



### 本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。